



WEEKLY REPORT

2008-2009 No.23 2008年12月18日

会長◆鈴木安之 会長エレクト◆臼井 浩 副会長◆矢部房男 村田典昭
 幹事◆三宅 謙 SAA◆桐田吉彦 会計◆市川 浩 ◇広報委員長：石田 隆
 E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp Website: http://www.zushi-rc.com/
 例会日・第1・3木曜日 12:30~13:30 第2・4木曜日 18:30~ 第5木曜日 18:00~
 例会場・逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL: 046-870-6651
 事務所・逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル 2F TEL&FAX: 046-873-0226

本日の進行(12:30)

委員会上半期活動報告
 下半期計画発表

一次回のお知らせ

12月25日(木)(18:30)

忘年会

(海 狼)

◀ 第 2281 回 例会記録 2008年12月11日 ▶

出席報告	会員数 43 名(出席免除 6 名)	出席数 21 名	出席率 56.76%	前回修正出席率 59.46%
ゲスト	佐藤万帆さん (R 財団学友) 伊藤延雄 地区財団増進委員長			

■ 会 長 談 話 鈴木 安之 会長

先日第2グループの会長・幹事会がありました。ルクセンブルクからの GSE の方たちのお世話は今回はしなくて良い、その時期に開催の葉山 RC ホストの IM には協力をお願いしたいということでした。

本日のゲストは R 財団学友の佐藤万帆さんです。学友会では、2004 年スマトラ沖地震で大きな被害を受けたインドネシア・アチェ州の、1970 年代からの内紛によって教育の遅れた子供たちに、チャリティーコンサート

を行ってその収益で図書を寄付しよう、と企画しています。子供たちに夢を・・・ということですが、足利の書家・相田みつをが「人の痛みを涙を流せば流すほど心が洗われる」「悲しい時はどんどん泣けばいい、泣けば泣くほど傷ついた心がいやされる」と言っています。

アチェ州の子どもたちに対する R 財団学友のコンサートは、とても素敵なことと思います。逗子での開催ということですので、皆さん是非ご協力をお願いします。

■ 報 告

三宅幹事：＊ロータリーの友 12 月号、ガバナー月信 No.6 ＊週報：横須賀西、横須賀北 ＊2010-2011 年度 R 財団国際親善奨学生・世界平和フェロー募集 ＊第3回ロータリー絵画展開催の予告 ＊交換学生0-テックとの懇談会 1/17 ＊第2グループ会長幹事会報告：葉山 RC より 3/28 IM の手伝い要請有 ＊2008-09 年度地区大会報告書(DVD3 枚)

■ ニコニコ BOX (43,000円)

伊藤延雄君…本日の卓話者佐藤さんの同行でまいりました。どうぞよろしくをお願いします。

鈴木(安)君…R 財団学友佐藤万帆さんをお迎えして。

3/14 のチャリティーコンサートをよろしく。

矢部(房)君…佐藤さんをお迎えして。今年ももう師走。

三宅君、山口君、山本(由)君…佐藤さんへよろしく。

矢部(光)君、松田君、桐ヶ谷君…R 財団奨学生佐藤万帆さんをお迎えして。

渡邊君…ルイス君、佐藤さん WELCOME。

臼井君…ルイス君、元気ですね。

湊屋君…女房の誕生祝を頂き。佐藤さんへよろしく。

坂井君…佐藤さんスピーチよろしく。結婚記念のお祝い

ありがとうございます。

福嶋君…73 才になりました。色々お世話になります。

横山君…山口さん、昨晚はお世話になりました。

毛利君…家内が老後の楽しみとして 10 年前からパステル画を始めました。この度初入選し上野の都美術館に展示されます。

高橋君…なかなか出席出来なくてすみません。

矢島君、野手君…遅刻しました。

山本(三)さん…このところ強風続き、財布も強風。

村田君…気分乗らない年の瀬だ。

ニコニコ BOX 本日合計 ￥ 43,000

累計 ￥ 892,000+

次週 12月25日(木) 例会 18:30 (海狼) 忘年会 (お一人 1,000 円程度のプレゼント持参)

◆卓話 「留学から国際交流事業に関わるまで+アチェ・チャリティーコンサート」



2780 地区ロータリー財団学友 佐藤万帆さん（現在 笹川平和財団勤務）

1994-1995 年ロータリー財団奨学生としてロンドン大学大学院東洋アフリカ学院社会人類学修士課程にて学ぶ。留学経験を経て「海外からみた日本」に関心を持つ。卒業後、独立行政法人国際交流基金に入社、日本と海外の「文化交流事業」に携わる。2001-2005 国際交流基金ジャカルタ日本文化センターに勤務。駐在時期はインドネシアは変動期であり、テロ事件、地域紛争も多数あった。2004 年末にスマトラ沖地震・津波が起き各地で被害を被った。

インドネシア北端の「アチェ州」は石油、天然ガスなど天然資源が豊富であるが、1970 年代より独立を目指して紛争が続いていた。紛争による被害に加えて、津波

により 20 万人もの被害者を出した地域である。人々は紛争下の様々な制約に苦しみ、子どもたちも十分な教育機会を得られなかった。

そこで 2780 地区ロータリー財団学友会主催でチャリティーコンサートを実施し、その収益によりアチェ州の子どもたちに図書を寄付し図書館の設立を目ざそうと企画した。

3/14 逗子文化プラザホールで開催。



「子供・未来・夢」アチェ・チャリティーコンサート 2009 年 3 月 14 日(土)入場料¥3,000 出演：財団音楽学友

◆国際ロータリー第 2780 地区・地区大会報告書◆

Free Talking ・ ・ 臼井 浩

去る 10 月開催された「地区大会」の報告書が 3 枚の CD に纏められ配布された。1、2 枚は「会長幹事会」、「地区指導者育成セミナー」の様子。他の 1 枚は「本会議」の全てのプログラムが収録されているもので、時代にマッチした新しい試みとして大いに歓迎したい。

過去に CD を用いた報告は中西ガバナーの時にあったと記憶しているが、今回のものははるかに完成度が高い。印刷物による報告書は上質の紙を用いて写真入の分厚い、立派なものが配布されていたが、これには大変な労力と費用を要したものとする。今回の CD は報告書の提出時期も大幅に早められ、ビデオの撮影、編集をプロに依頼した(?)としても大幅なコスト削減に繋がったと推定する。当日大会に参加できなかったロータリアンにも会議の内容が正確に伝わるし、見たい部分をスキップして見る事が出来るのは心地よい。

問題なのは、CD を入手したアナログ会員が、家庭でビデオプレーヤーないしパソコンをセットしてこの映像を見る気になるかどうかであろう。主催者足柄 RC の英断と努力に感服し、せっかくの貴重な映像を有効に活用したい。

当逗子 RC が来るべき 50 周年記念式典を行う際には本報告書の内容、編集共に大いに参考にしたいものである。



付添いの伊藤延雄委員長 (地区財団増進)



十二月のお祝い → ルイス君元気で例会に ←



コラム

▼今年も残すところ 10 日余りとなりました。この 1 年を振り返って選ばれた漢字が「変」という字だった。確かに政治面では、しっかりした政策が決まらず短命内閣での度重なる首相の交代。経済面では一日毎に大きく推移した石油価格、為替レート、株価。収入の変わらない私たちは、毎日の生活の中で色々と対応を強いられました。社会面では、幼い子供を安易に殺害して放置したり、自分の気持ちを晴らす為に見知らぬ人をホームから突き落としたり、沢山の人をナイフで殺傷したりする人。過去にもこういう人はいたのですが、今年ほど事件が重なり問題になった事はなかった。▼南米のチリ的高速道路で車にひかれた犬を他の犬が、車が激しく往き来する道路を引きずりながら路肩まで救済していく、けなげな姿がテレビで放映されていましたが、「犬にも劣る人間」に変わってしまったとは思いたくありません。

湊屋 孝之